

北海道新幹線の開業効果を 胆振・日高へ

～森港→室蘭港航路を活用した
モニターツアーを開催～

「北海道新幹線×n i t t a n地域戦略会議」(事務局:苫小牧市)では、来年3月に予定されている北海道新幹線の開業効果を胆振・日高エリアへ拡大すべく、森港(森町)と室蘭港(室蘭市)を結ぶ「噴火湾航路」を活用して、旅行会社を対象にしたモニターツアーを開催しました。

8月5日のツアー初日は、主に噴火湾航路の窓口となる森町を知って頂くため、森町の産業や自然、歴史等を森町職員がPRしたほか、森町のグルメとして、7月より町内9店舗で提供を開始した新名物「森らしいす」も振るまいました。

モニターツアーは5日から8日までの4日間の行程で、森港を出発したクルーザーに乗ったモニターの皆さんは、室蘭港から上陸後、胆振・日高エリアの観光地を巡ります。

函館開発建設部では、港湾の利用促進を通じて道南や噴火湾観光の魅力向上に繋がる同会議の取り組みを今後も支援していきます。



森町観光の魅力を紹介



新名物「森らしいす」



いよいよクルーザーに乗船



室蘭へ出発!!